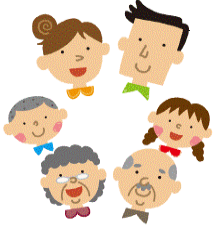
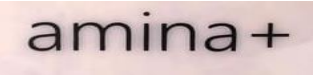


プロジェクト名	分野	担当者プロフィール	プロジェクト内容
とち食材の直送・直売ビジネス実体験 2024年夏 とち帯広空港マルシェ	ビジネス (流通)	村井 正浩	★★★とち野菜急便さんが取り組みたいこと★★★
		1972年生 岐阜県出身 1994年 株式会社ロッテ入社 1998年 ハイネケンジャパン株式会社入社 1999年 Schickジャパン株式会社入社 トレードマーケティングマネージャー カミソリのSchick/洗口液リステリン ブランド 2005年 ダノンジャパン株式会社入社 販売企画経営企画シニアマネージャー evian/ Volvic/ダノンヨーグルト ブランド 2013年 アウディジャパン株式会社入社 エリアマネージャー 2021年 株式会社エイコーウェルネス 常務取締役 2022年 株式とち野菜急便 代表取締役 	①株式会社ゼットンとの定例会議「北海道食材メニュー開発会議」への参加 弊社と株式会社ゼットンで定例で行っているZOOM会議へ参加しませんか？始めはとち食材・北海道食材が直送され、どのように活用されているか、直送のメリットはどんなところにあるのか、会議を通じて実際の現場を学びます。後半は高校生からゼットンの統括料理長や料理長にとち食材をアピール(その食材が持つ素晴らしいところ)する時間なども設けたいと考えています。 ②2024年夏とち帯広空港マルシェ(とち食材直売)イベント企画→実施 2023年からスタートし、2024年夏秋をゴールとして、とち食材の素晴らしさを空港利用者にアピールし、来勝者の皆様に理解を深めてもらい、食材を実際に販売することで「流通」の仕事を体験します。2024年8月実施を目標にとち名産スイートコーンや夏野菜を揃え、1ヶ月限定の中部国際空港便の運航時期を狙います。食材の選定やPRポイント、POP作り、帯広空港管理者「北海道エアポート様」にイベント実施のための交渉準備とプレゼンも予定しています。 【ゼットン系列の飲食店】 
とちゴチャマゼアート展	福祉 (障がい者)	小川 洋輝	★★★青鳥舎さんが取り組みたいこと★★★
		1985年生 幕別町出身 2004年 障害者福祉施設で働く 2012年 一般社団法人青鳥舎設立 2023年 絵本「やっちゃんぽっちゃんれもっきー」を出版する。絵本作家としても活動中 	高校生と一緒に障がいを持った人が携わる作品を展示するアート展と一緒に協力して開催したいです。障がいのある人たちの社会参加の機会と一緒に作りませんか？ また障がいのある人となない人の交流を通じて、新たな視点を持ってみませんか？ ①障がいのある子どもから作品の提供を受け、その作品をデジタルトレースし 仕上げる。 ②ワークショップを開催し、共同で作品を作り上げる。 ③イベント開催に向けて資金集めを企画する。   
高齢者の居場所づくり	福祉 (高齢者)	幕別町社会福祉協議会	★★★幕別町社会福祉協議会さんが取り組みたいこと★★★
		高齢者サロンや地域住民の集いの場づくり 	高校生自らが、高齢者サロンなどの集いの場を通じて地域住民の生活に触れ、交流し、よりよい居場所づくりを提案する。つながりや支え合いは、いずれ自分自身が高齢になった時に欠かせないものになることを若いときから考えることが大切です。プロジェクト活動を通じた体験を踏まえて、若い世代として住民同士のつながりの大切さを伝承していく機会になってほしいと考えています。 ①STEP1 学習 つながりや支え合いについて、人との触れあい、居場所は誰にとっても必要であり、高齢になった生活にはことのほか大切になっていることを学ぶ ②STEP2 参加 町内の地域サロンや住民の集いの場に参加し、課題や新しい構想などを考える ③STEP3 計画・実行 サロンに参加した感想を踏まえて、高校生として考える集いの場を企画し、「高校生サロン(仮)」を開催する。 ④STEP4 発言 STEP1～3を通して活動を振り返り、体験したことや学んだことを広く町民へ発信する。  

～北海道科学大学連携～ 幕別サテライトへの誘致・活性化	地域コミュニティ 街づくり	幕別町商工観光課 地域おこし協力隊 谷保 明洋 帯広出身 釧路工業高等専門学校(建築学科卒業) 国土交通省北海道開発局営繕部所属 開発局時代は札幌・旭川・稚内・釧路・帯広に勤務 (帯広勤務時) 帯広街中活性化に取り組む企業団体とともに、地域 創生活動に取り組む。 ★ホテルリノベーション計画 ★馬車Barの馬車製作 ★TOCACHI ICE PARK企画運営 その後、札幌勤務となり、週末は十勝に来て活動す るなど、2拠点居住をして4年過ごし、令和5年3月 に国土交通省を早期退職し、4月より幕別町地域 おこし協力隊として「空き家施設対策担当」として 勤務している。 	★★★地域おこし協力隊 谷保 明洋さんが取り組みたいこと★★★ 幕別町は帯広勤務の時に出会い、明野が丘公園の魅力、そしてまだまだ利用できる空き施設の多さを含め、この地域の再生の可能性を感じています。プライベートの活動で空き倉庫をリノベーションして地域の交流拠点「Makura Showcase」として整備し、多くの方が訪れ賑わいを創出しています。4月からもう1件空き施設をリノベーションして「幕理」も稼働させています。今後ますます2件が空き施設活用が決定しており、現在、複数協議検討中であり、1年以内に6件程度、空き施設の再生を目指しています。 空き家施設利用促進を目的として、令和5年7月に開設した「幕理」。ここは町のサポートセンターが入居すると同時に、その他のスペースは新規起業等のスタートアップやギャラリーなどの利用を目的に稼働しています。このスタートアップスペースを清陵高校のサテライトスペースとして、活用方法を考え、高校の広報活動や企画立案、作品展示など社会勉強としての経験の場として活用してみませんか？ また現在、幕別町が連携協定を結んでいる「北海道科学大学」の学生が活動するサテライトスペース作りを計画しています。高校生にはこの事業の誘致活動や活性化を実現するための企画などに参加してもらいたいです。スペース開設後は、大学生との交流だけでなく、附属高校との連携事業などを想定しています。高校生による関係人口の創出、次世代の積極的な関わりは幕別町にとっても大きな熱量になると考えています。 【今年度、駅前リンクが復活】  【4月から開設した「幕理」(空き施設利用)】
		フジファーム 	★★★フジファームさんが取り組みたいこと★★★ 幕別町中里で農業を営んでいます。フジファームでは有機農法で野菜を栽培しています。有機農業の良さを高校生に知ってもらったり、農業の価値や活用方法(市民農園・観光農園等)について考えてもらう学びの機会を提供できればと考えています。農業を活用して子どもたちが楽しく集まれる場所づくりも高校生とともに考えていければと思っています。  ①有機農業の情報発信 ②農地活用プロジェクト ③CSA(地域支援型)農業の構築 ④オーガニック給食の普及活動 ⑤子どもの居場所づくり
hasicoデザインプロジェクト	ものづくり (革細工)	吉田 亜美 札幌市出身 2004年 長野県在住時、革細工に出会う 2006年 雑貨店yuki*michiで委託販売を開始 2014年 Yoshida Leather Worksをオープン 2022年 幕別本町にてamina+をオープン 	★★★amina+さんが取り組みたいこと★★★ 革細工の工程生まれる、たくさんの革のはしっこ(はしっこ＝aminaではhasicoと名付けています)はしっこであっても、立派な革です。はしっこの革も無駄にしないように、ほぼ捨てずに作品としてできる限り活用するように取り組んでいます 店舗ではhasicoシリーズとして、ブローチ・キーホルダー、hasicoを張り合わせたトートバッグなどを作ってきました。 今回は高校生の皆さんのセンスとアイデア、お力をお借りして新たなhasicoシリーズのデザインを一緒に考え、作品として発表できたら考えました。作品となったものは店舗やイベントで、作品が誕生したストーリーなどを添えて販売したり、今後のhasicoシリーズの定番商品として販売させていただく可能性があります。 高校生の皆さんには、実際にたくさんのはしっこを手にとり、そこからデザインをイメージしてスケッチや場合によっては実際に革を組み立てたりして、デザインを作ってください。そのデザインをaminaがミシンをかけ、完成させます 手縫いの作業や金具打ちなどは高校生の皆さんも制作に参加できる場面があるかもしれません。 【hasicoシリーズの作品】 
スタートアップのための店舗作り ～木工プロダクト開発&出展	ものづくり (木工)	クサカ アツシ 北海道新得町出身 釧路工業高等専門学校卒業 地元新得で土木事業に携わる 仕事の傍ら、音楽活動(ベース)を開始 趣味で木工を始める 哲学、武術についても勉強中 現在、幕別本町にて事業開始予定 	★★★木工家 クサカ アツシ さんが取り組みたいこと★★★ 現在、幕別本町にて空き家を活用し、新しい工房を立ち上げている途中です。高校生の皆さんには、この工房のスタートアップをお手伝いしていただきたいです。 この工房では、作業場だけでなく、イベントや販売会など様々なことを実施していく予定です。多くの人が楽しめるような空間にするためのアイデアや作業と一緒にできると嬉しいです。また木工でのプロダクト開発を予定しています。 欲しいけど売っていない物を形作り、最終的には店舗での販売会やイベントと一緒に企画しましょう。 【クサカさんの作品の一部】 

大人も子どもも み～んな笑顔になあれ♪	チームビルディング (心理カウンセラー)	佐々木 祥子 心のサロンSmiley 代表 ケアストレスカウンセラー(Google検索可) 主に個人の方の(大人・子ども)カウンセリング、コーチング、講演、研修、ワークショップ JMAA日本メディカルアロマセラピー協会 十勝支部認定校代表 北海道拠点講師 十勝子どもの居場所・学びネットワーク協議会【輪～む】代表 音更町民生委員・児童委員 主任児童委員 CAP道東 スペシャリスト おしゃべりサロンSmiley(親・子の居場所)主宰 趣味 バイクツーリング(大型2台所有) 全国どこへでも行きます♪ 	★★★ケアストレスカウンセラー 佐々木 祥子さんが取り組みたいこと★★★ 「おとなも子どももみ～んな笑顔になあれ♪」をテーマに仕事や活動をしています。現代社会は、子どもたちが未来に希望が持てない状態。一人一人が自分を尊重して、夢を持って進めるようになれたらいいと思っています。 自分に自信がない、周囲の視線が怖い、他者とのコミュニケーションが苦手、集団が苦手…現代では様々な心の悩みや周囲とのコミュにケーションに悩んでいる人が多いです。私のプロジェクトでは主に授業時間で、コミュニケーション・チームづくり・アサーション・コーチング・プロジェクトアドベンチャーに取り組みます。 【講演会の様子】  【FM WING出演 第1月曜放送】   
つくる!動かす!!・制御する!!! ロボット作りで覚える 「論理的思考」と「プログラム」の基本	ものづくり (ロボット?)	田中 教之 1975年生 音更町出身 1996年 釧路工業高等専門学校電子工学科卒業 1996年 (株)ポータス入社 1999年 (株)スコーシャ入社 2011年 北海道情報大学編入 2013年 同学経営ネットワーク学科卒業 2014年 滝上高校赴任 2019年 幕別清陵高校赴任	★★★田中 教之 が取り組みたいこと★★★ 人間は五感(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚)に代表されるような様々な感覚器官(センサー)から情報を得られる情報を脳で処理し、体を動かしたり休めたりする事で行動することができています。ロボットは人が行う(もしくは人にできない)動きを、機械的に表現し、効率よく作業することを目的に作られているので、ロボットを動かすためには、動きを理解・分解・構築する必要があります。 本プロジェクトでは、以下の内容について学ぶことで、プログラムの制御の基本と論理的思考を身につけることを目的とします。 ① 機械的な構造の理解 ② 動きを制御するためのセンサーの働きとデータのフィードバック ③ 行動パターンの言語化 本プロジェクトを実現するために車(模型)の自動走行プログラム、人型ロボットの動作プログラム、簡易型クレーンゲームの作成に挑戦してもらう予定です。 <u>※あくまで予定です。全ての内容を必ずやるとは限りませんので、過度な期待を抱かないようにお願いします。</u>  
建設の世界を覗いてみよう！	ものづくり (建設)	樋渡 大喜 	★★★菊地工業建設さん が取り組みたいこと★★★ 私たちは幕別町で建設業を営んでいます。主に受注は幕別町、北海道(建設管理部・振興局)、開発公社、下請負工事、民間工事(墓石クリーニング解体もやります)などの土木工事を中心に皆さんの生活基盤を支えています。地図に載っていない場所が、自分と会社みんなの力で進りあげたものが、地図に残る！すごく達成感があり、地域住民の役に立っていると肌で感じます！！今の建設業界は高齢化が進み、若者の人材不足が問題視されています。男子生徒、女子生徒問わず、ぜひ「社会に役立つ」「高い技術力」「ものづくり」を体験してみませんか？ 私たちの仕事の内容は ★一般土木(道路、舗装、河川、橋梁(はし)補修工事など) ★農業土木(暗渠(あんきょ:地下にある水路)、明渠(用水路です)、徐礫(農地の石を取り除く)、営農用水、水道施設工事) 皆さんと取り組みたいこと ①工事概要と図面の照査 ②現場での起工測量 ③現場見学作業(実際に体を動かして作業してみよう！) ④工事する前と工事完成後の比較 
農業＋福祉の融合 & 商品開発	農業6次化	藤原 昇 平成16年 立命館慶祥高校卒業 平成20年 立命館大学卒業 平成20年 北海道銀行 入行 平成25年 北王農林入社 令和2年 同社常務取締役就任 	★★★北王農林 さんが取り組みたいこと★★★ 「農福連携」の仕組みを活かして、新しいシゴトの創出と商品作りにチャレンジしてみませんか？ ①農業界は全国的に人手不足となっており、農作業や関連作業を福祉事務所に委託するケースが増えてきています。今ある農作業の中でどんな作業だったら委託できるのか、委託できなさそうなものはどんな工夫をすれば委託できるようになるのか。 そんなことを共に考えて実践していきたいです。 ②委託してできた作物を、次は工場などへ依頼して加工し、流通できる商品を作りたいと思います。その商品開発やデザインなども一緒に考えてみたいです。    
学校も学校の周りも町も 自分の心もキレイにしておこうかプロジェクト	環境美化 と 心の整備	羽田野圭介 1981年生 北見市出身 2006年 幕別高校赴任 2011年 大野農業高校赴任 2019年 幕別清陵高校着任 	★★★羽田野 圭介 が取り組みたいこと★★★ 本校では「幸せな大人」を目標にしています。幸せとは様々な価値観から生まれるもので、定義が難しいものです。その中でも「誰かのために何かをする・できる」(自分の存在意義を感じる)ことは幸福の1つであると考えています。 そこで！私のプロジェクトは、「学校・学校の周り・登下校する坂・町をキレイにしたり、整備する」を計画・実践します。誰かのために何かをすることで、自分の心にはどんな変化があるのかを検証したいと思います。 自分の身の回りをキレイにすると「心が整う」。あるお坊さんが書いた本の中にこんな記載があります。シンプルな暮らしと、自分を見つめる時間が、忙しい毎日を送っている人には、とても大切だということをお書きになっています。あまりにも多くの物や事を抱えすぎて、自分の本当に大切にしたい事、やりたい事、自分自身さえ見えなくなってしまうからです。「私たちの一つひとつのお行いが そのまま、私たちのところをつくります。粗雑な生き方をすればところは汚れますし、丁寧な生きかたをころがければ、少しずつところはきれいになるでしょう。ころがきれいなになれば、見える世界が輝きます。今より人に優しくなれます。」【出典：お坊さんが教える ころが整う掃除の本】 こうしたことを理由に大きな企業の社長さんの中には、「掃除」を重視している人物も存在します。また空間をキレイに整頓したり、掃除することで副交感神経が高まり「自律神経」を整えることが医学的に証明されています。 学校や学校周辺の物を整備し、掃除していくことで、その施設や物は自分にとって汗を流してキレイにした大事な物に変わります。 ①校内清掃(各所)と校内整備のお手伝い ②校舎周辺(登下校坂道)の清掃・整備 ③札内地区の清掃活動 ④校内でできる環境整備持続案の考案    